

# 第3期宮前区区民会議 第4回活力づくり部会

～ 地域特性をコミュニティづくりに活かそう ～

日時：平成23年1月21日(金)18:00～20:00

場所：宮前区役所 第1会議室

## 次 第

- 1 前回の振り返り
- 2 専門部会の流れ（スケジュールイメージ）
- 3 コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり
- 4 区民会議フォーラム
- 5 その他

### 【配布資料】

- 資料1 第3回活力づくり部会 摘録(案)
  - 資料2 予算要求を見据えた専門部会の流れ
  - 資料3 コミュニティづくりに向けた合意事項（第3回全体会までのまとめ）
  - 資料4 議論ペーパー（叩き台）
  - 資料5 区民会議フォーラムについて（案）
- 
- 参考1 宮前区に関するマップ一覧
  - 参考2 宮前区1年間の行事・イベント

## 第3期宮前区区民会議 第3回 活力づくり部会 摘録(案)

日 時 平成22年11月24(水) 18:00~20:00

場 所 宮前区役所4階会議室

参加者 委 員 山下委員長、直本副委員長、佐藤部会長、浦野委員、岡田委員、  
田邊委員、豊島委員、手塚委員、藤田委員  
恒川副委員長(オブザーバー)  
事務局 岩佐企画課長、豊田担当係長、鈴木職員  
阿部(コンサルタント)

### 1 部会長からの挨拶

- ※ 直本副委員長が佐藤部会長の決定および直本副委員長が部会長のサポートをしながら会議を進めていくことを報告。
- ※ 佐藤部会長より挨拶。

### 2 前回のふりかえり

- ※ 事務局より「資料3 活力づくり部会の検討経過」を用い、これまでの検討経過を説明。

### 3 他自治体の坂道を活用した取り組みの事例紹介

- ※ 事務局より目黒区(坂道ウォーキングのすすめマップ)、広島県坂町(ようよう坂町ウォーキングイベント)、座間市(第1回 ZAMA 坂道マラソンイベント)の3事例を説明。

**佐藤** マップについては、ウォーキングの時の持ち運びやすさ(重さ、大きさ等)を考えることも大切。目黒区のマップは行政だけでつくっているのかどうか知りたい。

**豊島** 宮前区にも「みやまえ子育てガイドとことこ」という子育てガイドがあり、お母さんたちの目線で作られている。

**佐藤** 平瀬川流域まちづくり協議会は持ち運びやすさを考慮していくつかあるコースごとにマップをつくっている。

### 4 「坂」の切り口

**藤田** 坂道を活かすためには他地区事例のような取り組みが必要になると思う。取り組み方として、まずはコミュニティの場に出てきてもらうためのイベントがあり、普段取り組むことができる継続的な取り組みが必要だと思う。うまく組み合わせたい。

**浦野** 坂を活かしたコースをつくり、夏休みのラジオ体操のように、実施時間が決まってい、指導してくれる人がいるような定期的な取り組みがあるといいのではないか。口コミで広がっていくかもしれない。

**佐藤** 公園体操は当初数ヶ所での開催だったが、徐々に広がり参加人数が増えている。

**浦野** 全ての人が取り組みを知ることは難しいが、1度大きなイベントをやって、坂道の歩き方を指導し、そのときにパンフレットを配り、口コミで上げられるといい。

**佐藤** 広島県の坂町ではウォーキング前と後に血圧等を計測したり、歩き方を指導してくれる人がいるようだ。

### 第3期宮前区区民会議 第3回 活力づくり部会 摘録(案)

浦野 月1回のイベントで歩き方や血圧の測り方を指導して、あとは時間と場所が決まっていればいつでもできる。血圧を測れるところがないのであれば、フロントタウンを利用してもらえればいいと思う。

佐藤 自分が楽しめることであれば、参加してもいいと思うはず。サラリーマンの帰りがけや、主婦が子どもにご飯を食べさせて外出できるような夜の時間帯に夜景のきれいなコースを回ったり、桜の季節であればたまプラーザをまわったりできるとよい。着替えをする場合は、フロントタウンに更衣室を借りられるとよい。家に一度帰ってまだまた外出するのは嫌だと思う。

豊島 夜間に人が歩けば、犯罪の抑止力にもなるのではないか。

手塚 継続的な取り組みをやるのはいいが、毎月やらなければいけないのだろうか。

浦野 その月が無理でも次の月にいけばいい。隔月でもいいと思う。

手塚 毎月やっていると行かなくちゃいけないという気になり、重く感じる。

佐藤 それは仕掛ける立場でのことか。参加する立場でのことか。

手塚 仕掛ける立場でのことである。

浦野 仕掛ける側を1人でこなすのは難しい。自然に人が集まるような仕組みをつくるイベントをやってみて、それをもとに継続的な取り組みにつなげられるとよい。

佐藤 広島県坂町では、毎回異なる団体がコースを企画しており、マンネリ化しないようにしている。また、それが負担の分散にもなっている。

浦野 フロントタウンも全てに関わることはできないと思うが、その取り組みを支援することはできると思う。

豊島 ラジオ体操はスタンプを押印やノート等がもらえることが楽しみだった。

田邊 イベントをやるのであれば、広島県坂町のように、いろんな団体や行政と連携が必要になる。公園体操は地道な活動の結果、大きくなってきた。宮前平グリーンハイツは7、8年前に参加者2、3人から始まり、今では宮前平グリーンハイツの人だけでなく、宮崎台などから人が集まるようになり、毎日25〜35人程度集まっている。行政やいろんな団体を巻き込むことによって、長く続けし、数多くの人が集まると思う。また、コミュニケーションの場になっていくと思う。

岡田 運用面でどこまで人的資源をさけるかだと思う。歩く、歩かないを関係なく言えば、坂の標識を携帯電話等で写真を撮れば粗品をプレゼントしたり、クイズ感覚でホームページなどにある坂の写真と同じ写真を撮ったら、何かをプレゼントしたりする方法がある。スタンプラリーをやっても、ポイントに人がずっといられるわけではないと思う。

佐藤 例えば、寺のどこかに言葉を一文字隠しておいて、いくつかの神社を回るとひとつの言葉になるということをやってもいいのではないか。スタンプを預かる人に迷惑がからなくていいと思う。

岡田 いちばん良いのは近隣のお店にお願いすることだが、難しいと思うし、近くに公共施設があるわけでもないと思う。Felica 端末（フェリカ、非接触 IC カード技術、端末は1万円程度で購入可能）の普及率が高いので、坂の標識を改造して設置することも考えられる。バッテリーは1週間程度もつので、あとは雨に濡れないようにすればいい。それでスタンプが貯まっていくようにすることができる。

### 第3期宮前区区民会議 第3回 活力づくり部会 摘録(案)

**佐藤** 若い人向けのやり方とそれ以外の方向けのやり方の2パターンあってもいい。

**藤田** 若い人を参加させることは重要。

**山下** 自治会で平成19年あたりから60回程度ウォーキングをやっている。歴史に詳しい人が案内をしてくれている。そういうのも非常に面白いと思う。

**直本** マラソン大会やウォーキングは、興味がある人ならどこにでも行く。そういう人たちを引き込むことも必要だが、出るか出ないかで迷っている人が1回ぐらい行ってみようと思うイベントを考えないといけない。イベントだけでなく日常的に誰でも一人でもできるものがあるといい。それを分けて考えていかないといけない。

**藤田** パンフレットを渡して歩きなさいということだけではいけない。年に1度のイベントでいくつかのコースのうちの1つをやってみて、残りのコースについてはイベント以外のときに自由に回ってもらえるといい。

**山下** 目黒区のパンフレットは元マラソン選手の宇佐美氏が描いている。宮前区でもこういった有名な人が関わってくれるといい。マラソン、ウォーキング、マップと3つくらいのやり方があると思う。世田谷では第5回世田谷246ハーフマラソン(11月21日(日)開催)が行われた。交通規制などどのようにやっているのか。

**藤田** マラソンといえば、42.195kmだが、それだけの距離を交通規制で止めるのは難しい。

**恒川** 坂の名前は子どもの時から知っているが、区内の坂は意外と知られていない。

**藤田** 昔から名称を持つ坂道は5か所。その他に13ヶ所あるようだ。

**山下** 18ヶ所に坂の標識はあるのか。

**事務局** 当時の区の事業で18ヶ所の坂に標識をつくった。

**山下** 実際に坂を数えると40ヶ所くらいある。目黒区は33ヶ所しかない。宮前区は目黒区より坂のまちという特色があるといえる。

**佐藤** ウォーキングは様々なところでやっていて、距離をみると、長過ぎて参加するかどうか迷う。自転車を活用できないかと思う。参加者をある程度の人数に制限してコースを回ってみてもいいかもしれない。

**恒川** まち歩きをやっているが、距離は4km程度である。4kmの間には必ず坂道が入る。まち歩きの際には、必ずトイレが問題になる。宮前区は必ず坂や名所・旧跡があり、4kmでも非常に面白いまちで、参加する人はどんどん増えている。

**佐藤** 距離が長くても、歩く人によって興味は様々なので、内容によるところが大きい。子連れもターゲットにしていけるといい。

**田邊** 歩き始めて間もなくの子どもをターゲットにするのは必要だろうか。少なくとも小学校の児童以上でなければ大変だと思う。

**佐藤** それは継続的な取り組みでカバーできると思う。

**藤田** イベントでは歩行者と自転車を一緒にするのは無理だと思う。

**佐藤** いろんな年代が参加しやすいような取り組みにしていければと思う。

**恒川** 日常の個人的なウォーキングを対象にするのか。イベントを対象にするのか。仕掛け方を考える必要があるのではないか。

**佐藤** 今は内容を検討する段階。今後具体的な手法を考えることになるのではないか。

**恒川** サイクリングはあっていいのではないか。

**藤田** 宮前区は他区に比べ、自転車保有率は低い。だから関心は自転車にならないと思う。

### 第3期宮前区区民会議 第3回 活力づくり部会 摘録(案)

**田邊** 歩いたりマラソンしたりする距離は様々な距離設定をしていいし、同じコースでも1年間に4回歩くと、四季折々の草花が見られて、それだけでも楽しめる。無理にコースをつくらなくても行政等のマップで歩くコースが紹介されている。

**直本** マップに坂道で楽しめるイチョウ並木、春にはたけのこがみられる竹やぶ、景色がいい場所などの情報が入ると良い。

**佐藤** カルタの情報を活用してもいい。現在情報収集をしているが、ある場所に情報が集中している。集中するということはそこに興味があるということなので、そういったところから情報を得ることが考えられる。

**山下** 長崎県は細くて長い坂があり、歩くだけでは大変。坂の対策として何かやっているのだろうか。交通対策なども気になる。

**直本** 坂道をコースに設定して、その坂道の沿線に住んでいる人から坂道ガイドボランティアを募集して、土日に協力してもらえる人をつくってもいいのではないかな。

**直本** 宮前区の場合は区民のほとんどが坂を通らないとどこにも行けなくらい生活に身近であることは他の地域とは違う点ではないか。

**豊島** 坂道を後ろ歩きで歩いている人を見た。それも健康のひとつなのかなと思った。

**岡田** 目黒区のマップは6700部売れているというが、買った人全てが歩いたわけではないはず。目黒区の高齢者の健康にどれだけ寄与したかは分からない。目黒区にとってはプレゼンスが上がっているということだと思う。そうであれば、例えば、iPhoneアプリ※を製作してはどうか。iPhoneにある電子コンパスやGPSといった機能を活用して、実際歩いた場所にお勧めとして紹介することができる。これまでに行政がiPhoneアプリ※を製作した事例はまだないはず。ダウンロード数も見えるし、プレスとしても取り上げやすいと思う。宮前区約20万人のうち、10%がiPhone持っているとして、自分のまちに無料で使えるアプリがあれば、それを使いたいと思うはず。6700人は軽く超える数字になる。ただし、それによって誰が坂道を歩くかと言われたときに若い人しか歩いていないということで批判を受けるかもしれない。

※iPhoneアプリとは

Apple社の開発したiPhone等専用で作成された様々なアプリケーションのことで無料のものから有料のものまで多岐にわたる。ゲーム、ビジネス、教育、天気、ニュースなどのカテゴリがある。

#### 5「坂」以外の切り口

**直本** 神社や階段といったものがあるのではないかな。

**田邊** 健脚でない人のために、坂に限らず平らなところを歩く方法もある。山坂ではなく、谷を歩くということでもいいと思う。谷を歩きつつ、坂も少し歩くということでもいいと思う。坂の上り下りだけではつらい。

**恒川** 宮前区は梅や桜もある。そういったものも取り込んだほうがよい。

**藤田** 小さい公園が多いことも特徴といえるのではないかな。

**佐藤** 平瀬川で子どもたちが笹舟をつくって、笹舟レースができないかと思うが、護岸になっっていることがネック。

**藤田** 平瀬川は川辺に降りられるところが何ヶ所かあるが、それ以外の川は川面に接することができない。

### 第3期宮前区区民会議 第3回 活力づくり部会 摘録(案)

豊島 橋の名前は昔からついているのではないか。

手塚 ただやるだけではなくて、これをやったら何かもらえるということがあったほうがよいのではないか。

直本 河川敷を活用しての活力づくりはないだろうか。

山下 平瀬川以外には立派な川はない。

佐藤 宮前区は団地が多い。団地からあまり出てこない、孤独死といったことへの対策として、例えば団地の外周の距離を示したようなマップをつくれぬか。高齢者が多いと思うので、団地周りで個々にリハビリができるようになると良い。その他階段を上がることで得られる成果についてもわかるとよい。コミュニケーションはとれなかったとしても、いつも顔を合わせるだけの関係でもできると良い。

直本 階段の多い団地やマンションを取り上げられると良い。

山下 広島県坂町の事例にあるような階段アートも面白いと思う。

直本 坂を中心にして、坂の周辺に何があるかを調べて、他の資源についてポイントとしてあげられるものはあげたらいい。

#### 6 次回議題について

佐藤 既にあるマップなどで設定されているコースを使ってもいいのではないかという意見もあったが、その他になぜ目黒区の取り組みが注目されたかといった事例を聞く機会を設けることができるが、どうか。

藤田 坂道はネーミングにすぎない。ウォーキング、マラソンなどどのテーマをもって活力づくりにするのかを決めないといけない。

佐藤 それを考える上で、他地区の取り組みを聞いてから決めてもいいかもしれない。

直本 坂の中で絞りをかけないということか。

佐藤 他地区の取り組みを聞いてみて、坂がいいということであれば、坂にするし、次回までに坂以外のことを考えるということでもよいと思う。次回に向けてどうするか。

手塚 まだ方向性決めなくてもいいと思う。

田邊 座間市の取り組みについて良かった点、反省点などを聞くのもいいかと思う。また、見に行くのもいいかなと思う。

豊島 決めなくてもいいと思う。

恒川 今日答えを出す必要がないのではないか。

佐藤 次回は坂と坂以外のことで議論を進める。「資料4 アイデア出しメモ」にあるように、自分がイメージしたコミュニティづくりはどんなターゲットを対象にして、いつやったらいいか、関わる人はどんな人がよいか、どんな人が手伝ってくれるかといったことを整理すれば、発言もしやすくなると思う。イベント、継続的な取り組み、マップなどが連携することや、出ようかどうか迷っている人を引き込むことを意識しながら考えてほしい。事例について話を聞く必要があるかどうか。話を聞くということであれば事務局に早めに相談したいと思う。フォーラムのときに呼ぶこともできる。

目黒区や座間市の事例については聞かず、意見を再度出し合うということでもよい。自分の考えを整理する作業はできれば宿題としたいところ。事前に事務局に送れる人は送ってもらえるといいと思う。

### 第3期宮前区区民会議 第3回 活力づくり部会 摘録(案)

**直本** もう少し方向性が決まってからでないと、みんなのイメージがばらばらで、集めてもただ意見を出すだけになってしまうと思う。方向性が決まってから集約したほうがよいと思う。

**佐藤** 自分の考えの整理については、整理するのみとし、次回資料を再度持ってきてもらい、説明してもらうこととしたい。所属する団体の会議や近所の人に坂道のことについて聞いてみてもらえるといい。

また、事務局にいつまでにどの程度決めなければいけないというスケジュールが分かる資料を出してもらおう予定としている。

#### 7 今後の会議スケジュール

※ 第4回活力づくり部会は平成23年1月21日(金)18時から行う。

(以上)





**当面の目標**





宮前区の基礎力アップ！地域社会の土壌づくりをしよう！

- ・区民が「宮前区」を意識する機会を多くし、地元への愛着や帰属意識をつくる
- ・地域社会と接点を持ち、地域社会に参加する人たちを増やす

**ターゲット**

今は宮前区と離れた生活をしていても、地域に参加する素養がある層

- ・きっかけさえあれば、すぐにでも地域社会に参加する層
- ・自ら積極的に自ら参加するわけではないが、地域社会に対してアレルギーがない層

<p>宮前区に住んでいる or 長年住んできたが、 これまでは特に地域社会と 関わらないで来た人たち</p>  <p>例) 会社人間、シニア世代</p>	<p>地縁・血縁があるわけではなく、 田園都市線のイメージに惹かれ なんとなく宮前区を選んだ人たち</p>  <p>例) 子育て世代、田園都市線マダム？</p>
<p>核家族や共働きなどで、宮前区は単に 寝るだけになってしまっている人たち</p>  <p>例) 川崎都民</p>	<p>宮前区に引っ越して来たばかりの人たち</p>  <p>例) 転入者、子育て世代</p>

**アプローチ**

まずは「宮前区」に対してポジティブな気持ちを持ってもらおう

- ・区民のうち、ターゲットとなる層は、宮前区や地域社会に対して「見向きもしない」のではなく、「気が付いていない」だけなので、「宮前区」というまちや地域社会に対し、「楽しそう」「面白そう」「好奇心が湧く」「共感できる」といったポジティブな感情を起こすことで、興味を持ってもらおう

**打ち出し方**

「生活の楽しみ方」や「まちとの付き合い方」をプロデュース

「宮前区での生活の楽しみ方」、「このまちとの上手な付き合い方」などを打ち出し、まずは宮前区の「まち」に興味を持ってもらい、それを支えている「人」と交流することで、無理なく自然と地域社会に入って来てもらおう！

◆宮前区での生活の楽しみ方

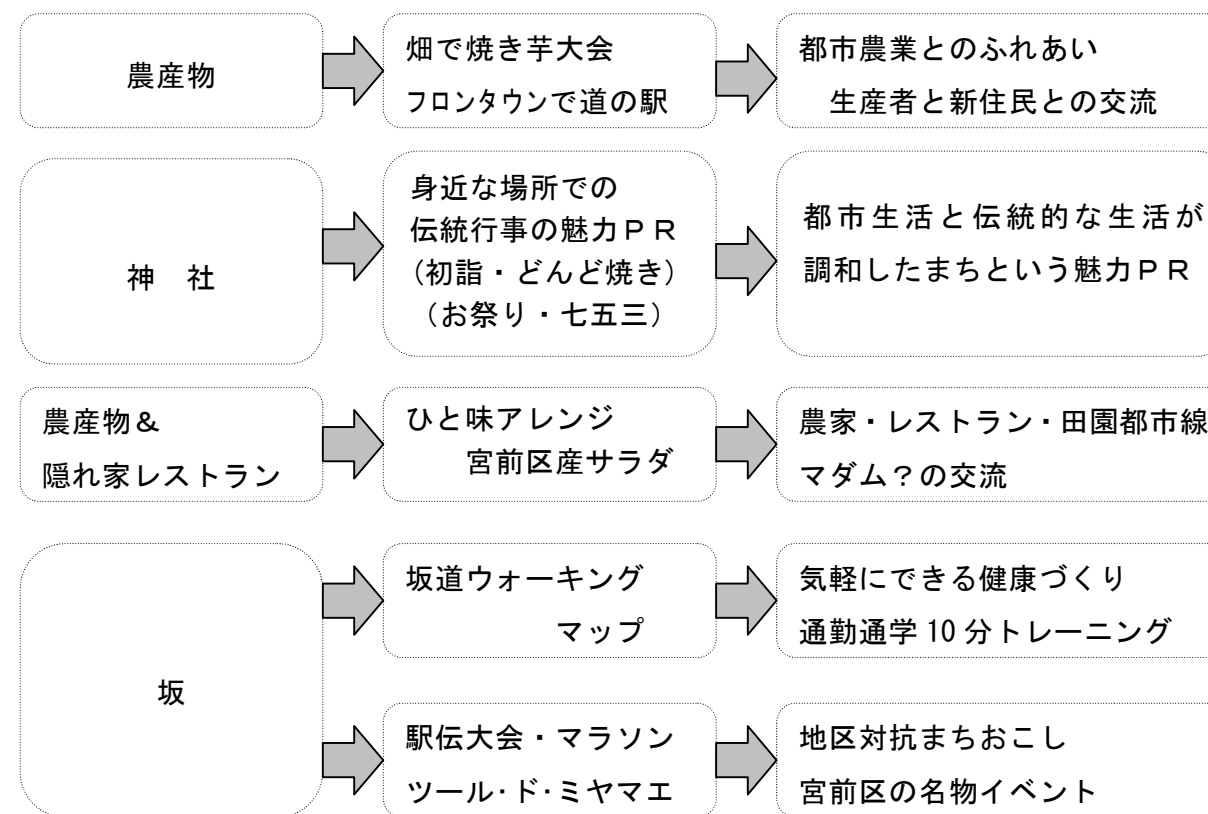
せっかく宮前区に住んでいるなら、宮前区や近所のコトをほとんど知らないまま毎日過ごすよりも、少しずつでも宮前区のことについて知ったり近所の人たちと交流したりすれば、もっと生活が充実するよ！

◆このまちとの上手な付き合い方

宮前区に家を建てたりして、これからこの場所で暮らしていくなら、「坂が多い」とか「高齢になったら大変だ」とか嘆くんじゃなくて、「高齢者になった時に困らないように、坂を健康づくりに活かす」など、このまちと上手に付き合っていく方法を身に付けよう！

**今後の検討**

これを題材に、こんな仕掛けづくりをしたら、こういうコミュニティづくりに繋がるんじゃないかという仕組みを各部会で考えていく。例えば…



## 第4回活力づくり部会 議論ペーパー（叩き台）

### ■議論のベース

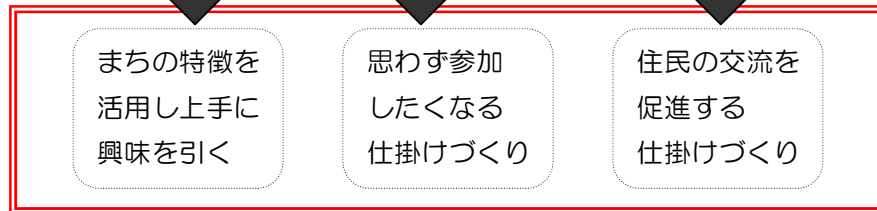
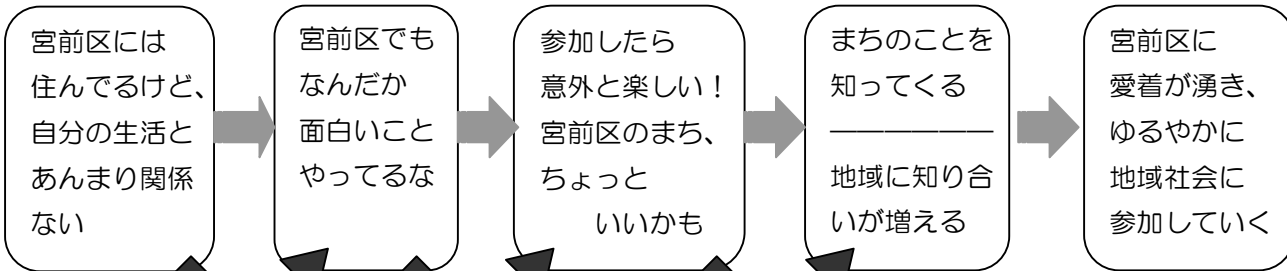
【当面の目標】 区民が「宮前区」を意識する機会を多くし、愛着や帰属意識をつくる地域社会と接点を持ち、地域社会に関わる・参加する人たちを増やす

【ターゲット】 今は宮前区と離れた生活をしていても、地域社会に参加する素養のある層

⇒ 宮前区に『ただ住んでるだけ』という意識を、このまちで『暮らしてる』という意識に変えていく

### ■どうすれば変わる？住民意識

住んでるだけ ⇒ 気付く ⇒ 参加してみる ⇒ 地域と関係を築く ⇒ 暮らしてる



～これまでの主な意見～

### ■まちの特性・特徴

【坂】 一番の特徴。区内全体で 40ヶ所近くあり、ほとんどの区民が坂を通る生活)

【典型的な住宅地】

まちのへそがない。河川や神社、公園なども小さい

【子育てのまち？高齢者のまち？】

子どもが多い一方で、意外と公営住宅が多く高齢化が急速に進展中

### ■坂を活用したアイデア

【健康づくり】	
坂道マップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂道で楽しめる情報を掲載</li> <li>坂道ウォーキングコース設定、消費カロリーを表示</li> <li>坂道の歩き方レクチャー（膝の曲げ具合や呼吸法など）</li> </ul>

ウォークラリー スタンプラリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>神社や景色の良い場所（坂の上から見る富士山スポットなど）</li> <li>四季を感じるコース</li> <li>ナイトウォーキング</li> </ul> ⇒定例開催は運営が大変。 いろんな団体が交代で開催できればマンネリ防止と負担分散
坂道マラソン	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂道をつなげたコース</li> <li>参加賞、商品に宮前区の産物を使ったら？</li> </ul> ⇒交通規制など少し大掛かりになるかも
ツール・ド・ミヤマエ	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩くよりも自転車はもっと坂を感じられる</li> <li>電動・ママチャリ・補助輪付きなど部門別イベント</li> </ul> ⇒同じく交通規制が… ⇒自転車保有率が低く、関心が持たれないかも

【魅力づくり】	
坂道ネーミング	18ヶ所ある坂道の愛称を拡大し、親しみを持ってもらおう
写真クイズ	坂道の写真でクイズを出し、同じ写真を取れたら抽選でプレゼント
写真ラリー	区内の坂道写真コンプリート→豪華商品？
坂道ゲーム	いくつか坂道を巡るとひとつの言葉になるゲーム
iPhone アプリ	坂道をテーマに住民と行政がアプリをつくれれば話題性は抜群
坂道写真展	

### ■他の切り口

--	--

## 平成 22 年度 宮前区区民会議フォーラムについて（案）

- 1 日時  
平成 23 年 3 月 12 日(土) 13:30~16:00
- 2 場所  
宮前区役所大会議室
- 3 目的  
(1) より多くの区民に区民会議の意義、活動内容を知ってもらう。  
(2) 参加した区民とともに、「宮前区らしさ・コミュニティづくり」について考える。  
(3) 提言後、取組を進める段階になったときの担い手・協力者を増やす。  
⇒区民とともに拡大区民会議を開こう！というイメージ
- 4 内容  
(1) 区民会議からの検討状況報告 20分  
(2) 事例紹介 40分  
(3) グループワーク・部会のテーマに会場を分かれての意見交換会 40分  
(4) グループワーク発表とフォーラム総括 20分
- 5 グループワークについて  
・活力づくり部会、地参知笑部会の両部会それぞれのテーマ内容に沿って、参加者と共に検討を深めるグループワークを開催する。  
・参加者はその場で参加したいと思った方のグループに参加する。
- 6 グループワーク進行案（全体1時間）  
・部会テーマに関連した投げかけを行い、ディスカッション。（40分）  
活力づくり 坂を活用してやりたいこと  
坂道でどんなことしたら楽しいだろう？  
地参知笑 宮前区の産物でどんなことができる？  
宮前区の面白ガイドをつくるなら、どんなコンテンツがあるだろう？  
・ディスカッションの振り返り、まとめ（10分）  
各グループが、ラベルで振り返りを行った上で、まとめの議論を行う。
- 7 事例紹介  
・第3期のテーマに関連するような参考事例の紹介に向け、現在調整中  
活力づくり ・坂道ウォーキングのススメ 【目黒区・目黒ウォーキング協会】  
・ZAMA坂道マラソン 【座間市・座間青年会議所】

## 8 スケジュール

時間	内容	役割分担
12:30?	集合・設営 リハーサル	全員
13:00	開場・受付	受付係
13:30	開会・あいさつ・流れの説明	山下委員長
13:35	区民会議からの検討状況報告 プロジェクター等で簡潔に 20分	報告：佐藤部会長 持田部会長
13:55~ 14:35	事例紹介 プロジェクター等で 40分	
休憩①10分 名産品でティータイム?		セッティング・応接班
14:45~ 15:25	グループワーク 4テーブル	進行：部会長+副委員長 書記係
休憩②10分 名産品でティータイム?		セッティング・応接班
15:35	報告 20分 (各テーブル発表 3分・意見交換 2分)	発表者：
15:55	あいさつ・閉会	山下委員長
16:30?	撤収・解散	全員

## 9 役割分担：区民会議委員全員で運営しよう！

会場設営・撤収	全員でやりましょう！	
受付係		
総合司会		
ティータイム対応班		
グループワーク発表者		
グループワーク書記		

## 宮前区に関するマップ一覧

- ・公園体操マップ
- ・地区別マップ（子育てガイドとことこ）
- ・お散歩コース（宮前区ガイドブック）
- ・宮前歴史ガイド
- ・みやまえガイドマップ
- ・市民活動応援マップ
- ・「活動の場」ガイド 施設開放事業所マップ
- ・地域安全マップ
- ・かわさきそだち共同直売所マップ（市内全域）
- ・多摩川・鶴見川洪水ハザードマップ
- ・平瀬川探索マップ（平瀬川流域まちづくり協議会）
- ・中学校区 緑のマップ（グリーンフォーラム 21 みやまえ）
- ・中学校区 桜のマップ（グリーンフォーラム 21 みやまえ）
- ・地図情報マガジン「mi-ru-to」（株式会社ゼンリン）

